

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
王寺町	王寺町立王寺小学校

1 基本コンセプト(取組のねらいや考え方など)

わが町の学校教育指導方針の重点で育成するものとして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心身」の3つが掲げられている。本校では、これをうけ、「『豊かな心・たくましい力』の育成をめざして一花いっぱい、やさしさいっぱい、笑顔いっぱい」を学校経営方針として、日々の教育活動に取り組んでいる。「学校・地域パートナーシップ事業」では、こうした町や学校の教育方針に向かうべく、コーディネーターはじめ、70人のボランティアの皆様方にご協力いただいている。

2 特徴的な取組の概要

サタデースポーツ



体をほぐす子どもたち

スポーツをする機会を持ちたいが、持つ機会の少ない児童を対象としたスポーツ教室を開催した。土曜日を利用し、ドッジボール、バスケットボール、バレーボール、ティボールなどを実施し、体を動かす機会を増やし、運動に親しみ「運動好き」の児童を育成している。チーム競技を通して、コミュニケーション能力を高めるとともに、なかまを思いやるやさしさやたくましい力も育成している。

体育支援

本校では、体育科を研究課題として日々授業を行い、体力の向上に取り組んでいる。奈良県教育委員会保健体育課がホームページで紹介している「グループドッジパス」「ペア馬とび」「8の字大縄跳び」にチャレンジし、「たくましい力」が身につくよう行っている。ボランティアの方には、パスしたり、跳んだりした数を数えて、結果を集計し、県への報告をしていただいた。



ペア馬とびをする子ども

栽培支援

本校の経営方針である「花いっぱい やさしさいっぱい 笑顔いっぱい」に向かうため、四季折々の花を咲かせ、児童や地域の方を和ませる学習環境作りを行っていただいた。隔週木曜日にボランティアの方に来ていただき、校庭や学校周辺の花の育成や児童に鉢植えや野菜作りの指導を行っていただいた。今年は、トウモロコシ、キュウリ、サツマイモ、白菜、キャベツなどの栽培を通して、『命をいただくことにより、私たちは生きている』という命の教育をボランティアの方と共に学ぶよい機会となった。



植え方を聞く子どもたち